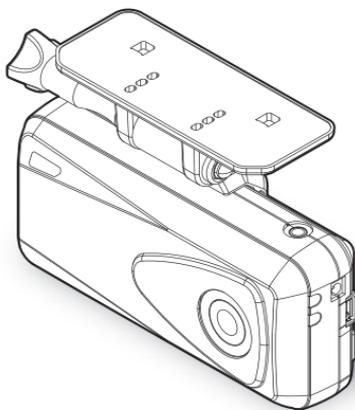


DENSO

ドライブレコーダー DN-PRO III

取付説明書／取扱説明書／保証書

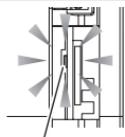


この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることが出来る所に保管してください。

なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入していただきお客様にお渡しください。

⚠ 注意

車両キースイッチが ACC (IG) の状態で microSDHC カードの抜差しを行わないでください。microSDHC カード破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜差しを行なってください。



microSDHC カード
アクセスランプ

👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

はじめに

取付け

PCで操作を行う

テレビで操作を行う

便利な機能

その他

目次

目次	2	テレビで操作を行う	40
はじめに	3	本体とテレビを接続する	40
安全上のご注意	3	映像を再生する	42
ご使用上のお願い	4	設定を変更する	46
知っておきたいこと	6	パスワードを設定する	48
梱包内容	7	録画データを消去する	49
本体各部名称	9	工場出荷時に戻す	50
本製品の動作について	10	便利な機能	51
取付け方法	11	記録時間を変更する	51
取付手順を確認する	11	威嚇 LED を点滅させる	51
ご使用上のお願い	12	車両メンテナンス機能	52
内蔵バッテリーを取付ける	14	安全運転報知機能	53
車両情報ケーブルを取付ける	15	エコモード	54
本体を取付ける	21	GPS セーフティアナウンス機能	56
取付け後の確認と設定	25	車速アラーム機能	56
車内で取付方向を確認する (テレビ接続時のみ)	28	付録	57
パソコンで操作を行う	30	こんなときは?	57
ビューワソフトを ダウンロードする	30	POWER ランプ確認表	58
映像を再生する	30	アナウンス一覧表	59
設定を変更する	35	製品仕様	60
パスワードを設定する	37	商標について	60
録画データを消去する	38	保証とアフターサービス	62
工場出荷時に戻す	39		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して、説明しています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が傷害や物的損害を被る可能性があります。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない内容を示しています。
	この記号は、しなければならない内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを 3 秒程度長めに押すことを示しています。
⚠ 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。
	microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
⚠ 注意	
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。

はじめに

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品をイタズラなどの目的で使用しないでください。個人情報保護法に抵触する恐れがあります。また使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- microSDHC カードを本製品に差込む場合、差込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードを抜く時は必ず、車両キースイッチ OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- 本体の通気孔を塞いだり、物を入れないでください。故障の原因となります。
- 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
 - ・ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ・ 本体を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ・ 長期間使用しなかった場合。
 - ・ 内蔵バッテリーを接続せずに使用したり、消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を作動温度範囲外で使用すると、正常に作動しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。

- 真夏などの炎天下の中では製品が正常に作動しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- GPS 衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かない為、GPS による警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等)
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の作動有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」の略称で、アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 衛星受信までの時間について

本製品を初めて使用する時や長時間使用しなかった場合、衛星を受信するまで5分程度時間がかかることがあります。

● 衛星データ

本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速めるためです。また、ビルや建物の陰、高架下、駐車場などではGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS衛星を受信できないことがあります。

● microSDHC カードについて

- ・付属のmicroSDHCカードは本機専用です。
- ・本機を使用するときは、microSDHCカードが必要です。
- ・microSDHCカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。約2～3年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況によりmicroSDHCカードの寿命は1年以下になる場合もあります。
- ・安定してご使用いただくため、定期的にmicroSDHCカードを初期化することをお勧めします。(⇒P38,49)
- ・本製品使用時は付属のmicroSDHCカードを使用してください。付属品および補給品以外のmicroSDHCカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 内蔵バッテリーについて

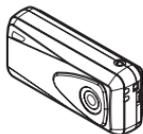
- ・内蔵バッテリーは消耗品です。約2～3年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により寿命は短くなることもあります。

梱包内容

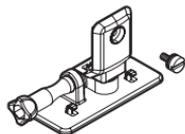
※ ご使用の前に以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。

キット品番：261720-0020

PRO III本体



取付ステー (1 個)
(固定用ネジセット付)
[261720-0040]



クッションテープ
(1 枚)



中継コネクタ固定用
バンドクランプ
(15cm/2 本)



コードクランプ (4 個)



microSDHC カード (8GB/1 枚)
(SD カード変換アダプター付)
[261720-0020]



※出荷時本体に
セットされています。

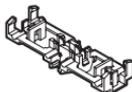
取付ステー固定用両面テープ(1枚)
(脱脂クリーナー付)
[261720-0050]



ケーブル保護テープ
(1 枚)



エレクトロタップ
ナチュラル色 (半透明) /S サイズ
(5 個)



※0.3sq ~ 0.5sq 用

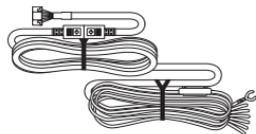
取扱説明書 (本書 /1 冊)



内蔵バッテリー (1 個)
[261720-0030]



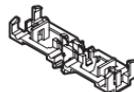
車両情報ケーブル
(1A ヒューズ内蔵)
[261720-0070]



バンドクランプ
(15cm/13 本)



エレクトロタップ
青色 /M サイズ
(2 個)



※0.85sq ~ 1.25sq 用

はじめに

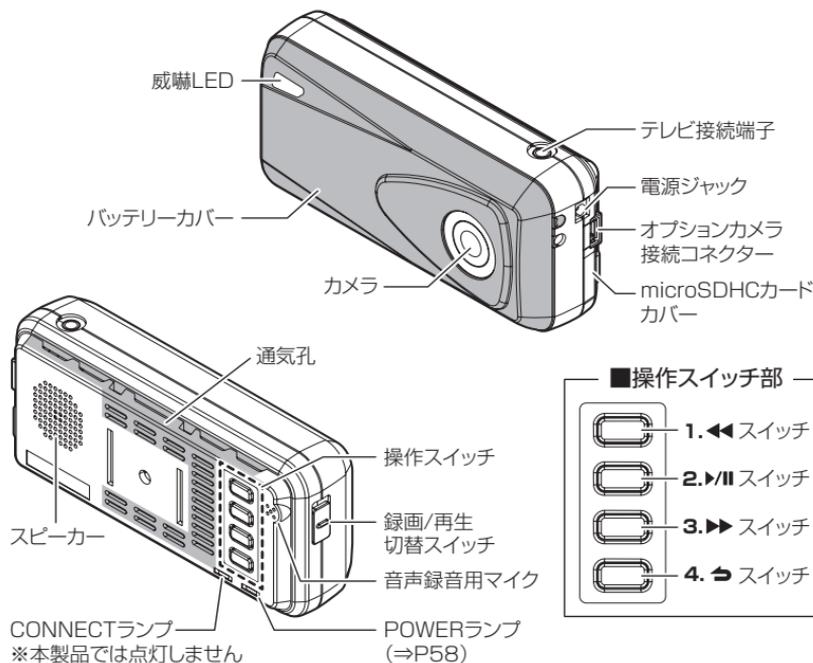
別売オプション

品番	品名	使用目的
261720-0080	オプションカメラセット (DROP-010)	本製品と接続することで車室内および周辺道路状況などの映像の記録を行うことができます。
■接続イメージ <p>約 3.0m</p> <p>端子形状 ※コネクタに「●B」の刻印有り</p> <p>端子形状 ※コネクタに「▲A」の刻印有り</p>		

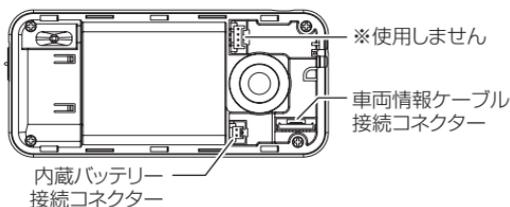
※ オプションカメラは、本製品に 1 台のみ接続することができます。

※ オプションカメラは、全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。

本体各部名称



●バッテリーカバーをはずした状態



⚠ 注意

- 本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- オプションカメラ接続コネクタへパソコンやスマートフォンなどを接続しないでください。故障の原因となります。

はじめに

本製品の動作について

本製品は車両キースイッチを ACC(IG) または ON(エンジン始動)にした後、POWER ランプが緑点灯または遅い点滅した時点から映像の記録を開始し、車両キースイッチを OFF にするまでを一つの常時録画データ（オールデータ）として記録を続けます。

また、本体の録画スイッチを押した時や衝撃を検出した時、[車速アラーム設定] で設定した車速を超えた時に、通常とは別の録画データ（イベントデータ）としてそれぞれ保存します。

イベント	常時録画の設定		記録時間
	ON	OFF	
衝撃	30 件	100 件	衝撃を検出した時の 前 20 秒 / 後 10 秒
手動スイッチ	3 件	10 件	スイッチを押した時の 前 90 秒 / 後 10 秒
速度超過	3 件	5 件	[車速アラーム設定] で設定した車速を 超過した時の 前 20 秒 / 後 10 秒

⚠ 注意

- ・**事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。**
- ・**光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。**
そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。
- ・LED 式信号機を撮影すると、信号が点滅したような映像が記録されますが異常ではありません。これは LED 式信号機との同期対策のためで、記録映像において信号機の状態を確認できるようにしたものです。

👉 アドバイス

- ・microSDHC カードの容量がいっぱいになると、古いデータから上書きして新しいデータを記録します。
- ・起動直後にスイッチ操作や衝撃を検出しても、記録前の映像がないため、上記記載の記録時間より短い映像が記録されることがありますが故障ではありません。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データ（イベントデータ）の保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しいイベントデータを記録することはできません。
- ・POWER ランプが点滅している場合は、映像を記録することはできません。音声アナウンスを確認後、各アナウンスに対する対処方法をご確認ください（⇒ P59）
- ・記録した映像の明暗などによって 1 件あたりの記録容量が変動するため、衝撃による録画件数が上記の最大件数に満たない場合があります。

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

※ 取付けを行う前に必ず、車両のバッテリー（-）端子をはずして作業してください。

本体取付位置を確認する (P12 ~ P13)



本製品に内蔵バッテリーを取付ける (P14)



車両に車両情報ケーブルを取付ける (P15 ~ P20)



車両に本製品を取付ける (P21 ~ P24)



動作確認を行う (P25 ~ P27)



パソコンで映像を確認する (P30 ~ P34)



終了

取付け方法

ご使用上のお願い

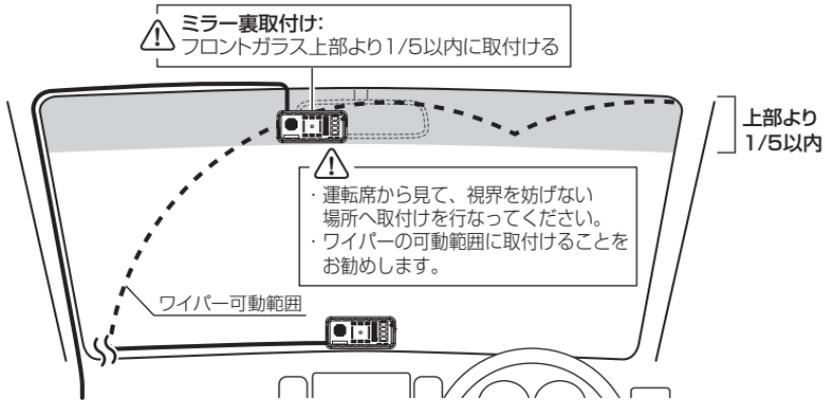
本体を取付ける前に必ずお読みください

⚠ 注意

- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグの展開範囲等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 1/5 以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けてください。
※道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 195 条および別添 37
- ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
※道路運送車両の保安基準第 21 条（運転者席）、細目告示第 27 条および別添 29
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行うか、ダッシュボードへ取付けを行なってください。
- 本製品を検査標章（車検証シール）の上に貼らないでください。
- フロントガラスのフチにあるセラミックライン部へは貼らないでください。
- GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機からは 10cm 以上離して設置してください。誤作動を起こす可能性があります。
- 地デジや ETC 等のアンテナからは 10cm 以上離して設置してください。アンテナの近くに設置するとテレビの受信感度の低下・ノイズの原因となる可能性があります。
- フロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見つらなくなる場合がありますので、ワイパーの可動範囲に取付けを行なってください。
- 車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- 本製品を取付ける際は、取付面の汚れをきれいに拭き取ってから取付けしてください。汚れなどがある場合、走行時の振動などで本製品がはずれる恐れがあります。
※必ず付属の脱脂クリーナーを使用してください。パーツクリーナー、ガラスクリーナーなどを使用した場合、成分によっては剥がれる場合があります。
- コードなどの配線時は可動部やエッジ部などに干渉しないように注意してください。故障やショートによる火災の原因となる恐れがあります。
- ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損する恐れがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。

取付位置について

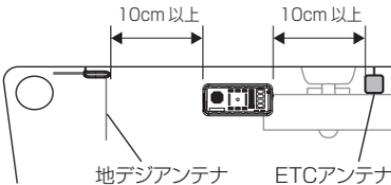
本製品はフロントガラス、またはダッシュボードに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図を確認の上、取付けを行なってください。



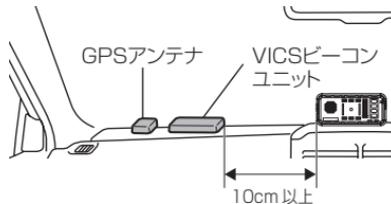
注意

- 地デジアンテナなどの各種アンテナより 10cm 以上離して取付けを行なってください。

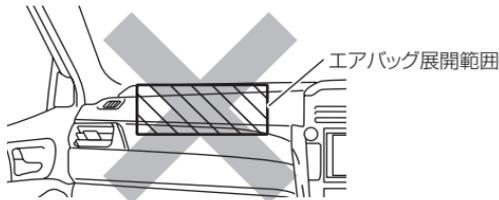
■フロントガラス取付け



■ダッシュボード取付け



- エアバッグの展開範囲には取付けしないでください。エアバッグ作動時に PRO III 本体が乗員に当たる恐れがあります。

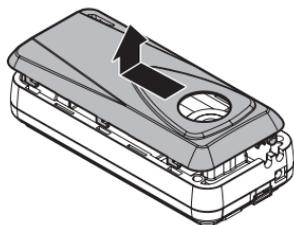


取付け方法

内蔵バッテリーを取付ける

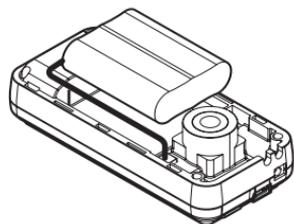
本製品を使用する前に、内蔵バッテリーを本体に取付けてください。

- 1) 本製品のバッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせてはずしてください。

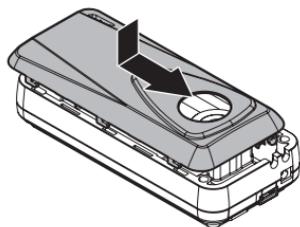


- 2) 右図のようにケーブルを取回し、バッテリーコネクタを接続してケース内に内蔵バッテリーを入れてください。

※防音用のスポンジに押当てながら内蔵バッテリーを入れてください。



- 3) バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取付けてください。



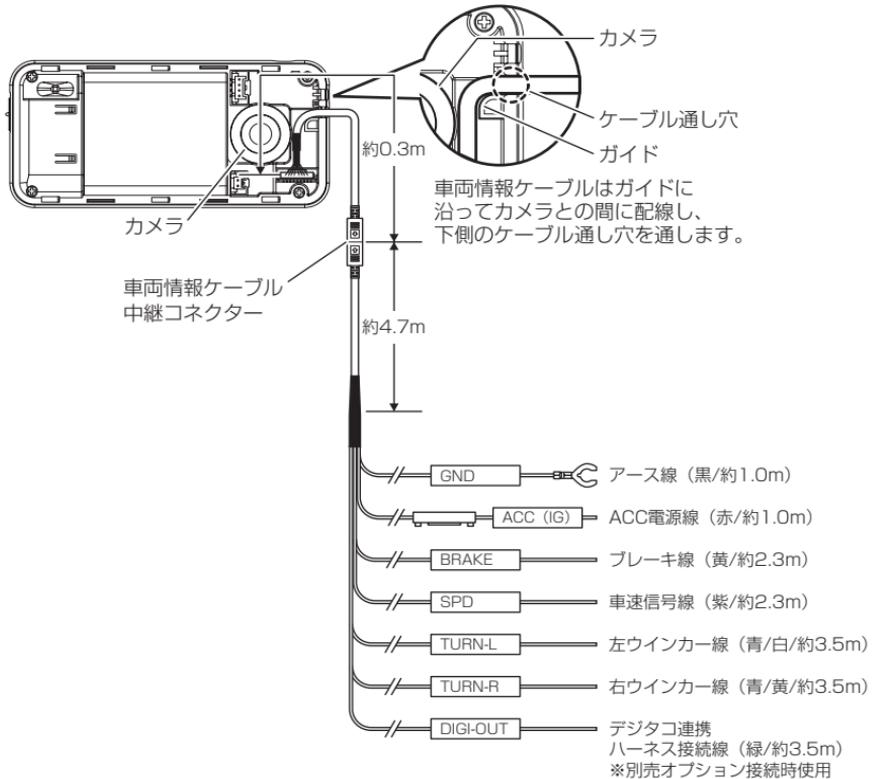
⚠ 注意

- 本製品は専用の内蔵バッテリーを使用しているため、他のバッテリーは使用しないでください。故障の原因となります。
- コネクタには向きがありますのでコネクタの凹凸に合わせてください。
- コネクタは必ず奥まで“カチッ”と音がするまでしっかり差込んでください。

車両情報ケーブルを取付ける

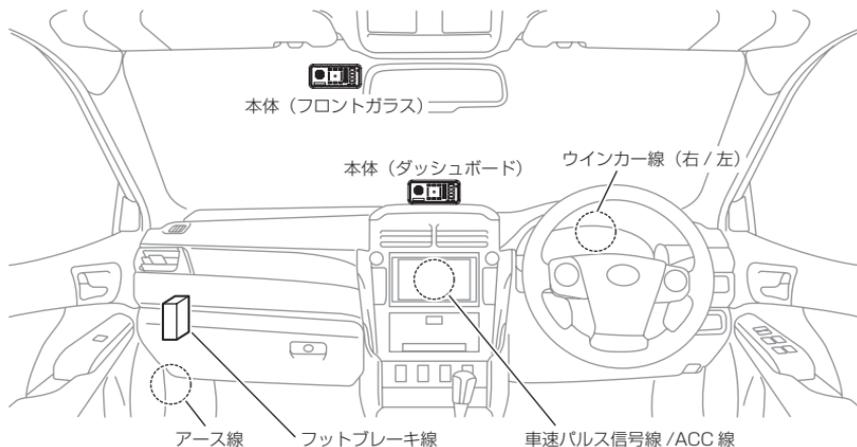
接続概要図

- 1) バッテリーカバーを取りはずし、車両情報ケーブルのコンネクターを接続します。
- 2) 車両情報ケーブルを下側のケーブル通し穴より通し、バッテリーカバーを取付けます。



取付け方法

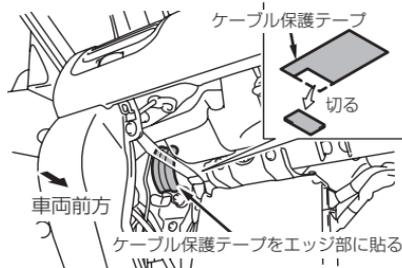
取付けレイアウト例



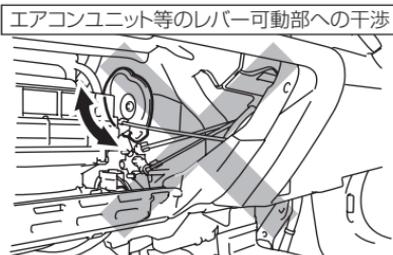
⚠ 注意

- ・コードを穴に通す場合や、コードが車両の金属部分に触れる場合はケーブル保護テープを使用し、必ず保護してください。コードが傷つき、故障や事故を引き起こすおそれがあります。
- ・余長部分は車両側のじゃまにならない所で束ねて、バンドクランプで車両エッジ部などない安全な位置で固定してください。
- ・接続しないコードは、車両側のじゃまにならない所で束ねて、バンドクランプで車両エッジ部などない安全な位置で固定してください。
- ・エアコンユニット等の車両可動部周辺にコードを配策する場合はバンドクランプまたはクッションテープでコードを固定して干渉防止してください。

■ケーブル保護テープ使用例

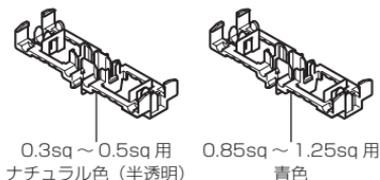


■車両可動部周辺へのコード配策注意



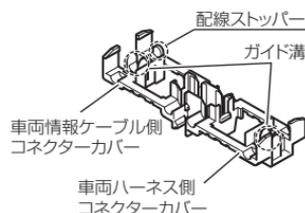
エレクトロタップを使用した接続方法

- ・エレクトロタップを使用する場合は、接続する車両ハーネスの線径に合ったエレクトロタップを使用してください。
- ・車両ハーネスの線径に合ったエレクトロタップを使用しない場合、ハーネスの半嵌合や断線のおそれがあり、接続不良となります。



	エレクトロタップ ナチュラル色 (半透明) ／Sサイズ	エレクトロタップ 青色／Mサイズ
適用電線径	0.3sq ~ 0.5sq	0.85sq ~ 1.25sq

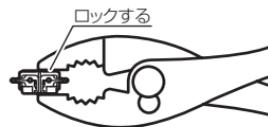
- 1) 配線ストッパーの付いている方向を確認します。



- 2) 配線ストッパー付きガイド溝に**車両情報ケーブル**の配線を挟み、プライヤーで均等に力が加わるように押し込みロックします。
※ プライヤーは広口にして作業してください。



- 3) 配線ストッパー無しガイド溝に**車両側**の配線を挟み、プライヤーで均等に力が加わるように押し込みロックします。
※ プライヤーは広口にして作業してください。



- 4) 最後にクッションテープ (20mm × 60mm) を巻いて異音防止をします。

クッションテープ(20mm×60mm)を巻く

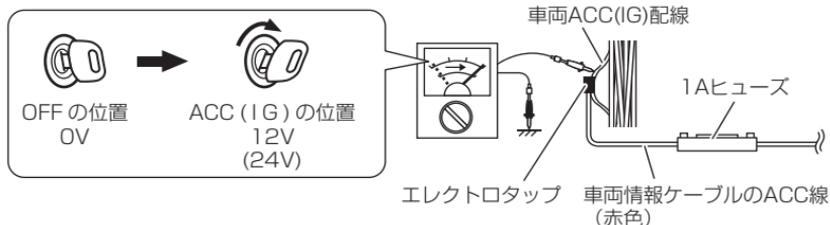


取付け方法

ACC線を接続する

車両情報ケーブルのACC線（赤色）を車両のキースイッチがACC位置で電圧が12V（24V）、OFFの位置で必ず0Vになる車両の配線にエレクトロタップで接続します。

※ 車両キースイッチがACCの位置で電圧が12V(24V)にならない車両は、電圧が12V(24V)になることを確認してからIG電源へ接続してください。



アドバイス

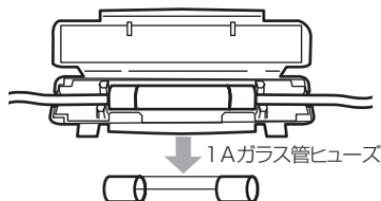
アイドリング検出機能について

アイドリング検出機能（⇒P55）を使用する場合、車両情報ケーブルのACC線を車両IG線に接続することをお勧めします。

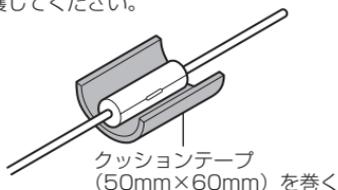
※車両ACC線に接続した場合、ACC ONの状態（エンジンOFF）でもアナウンスを行います。

ヒューズ交換方法

車両情報ケーブルのヒューズホルダーのキャップを開け、同じ容量、サイズのガラス管ヒューズ（1A）と交換してください。また、初回取付け時やヒューズを交換した後は必ずクッションテープでヒューズホルダーを保護してください。



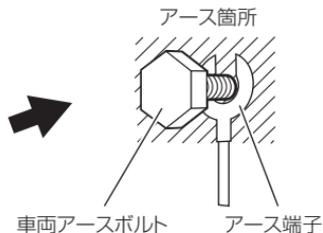
初回取付け時またはヒューズ交換後、クッションテープでヒューズホルダーを保護してください。



アース線を接続する

車両情報ケーブルのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

<取付例>

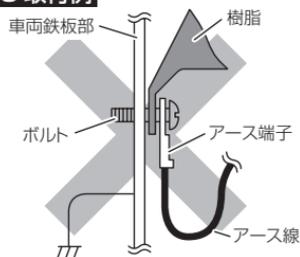


取付け

⚠ 注意

NG 取付例

ボルトとアース線の間に樹脂などの絶縁体を挟まない。

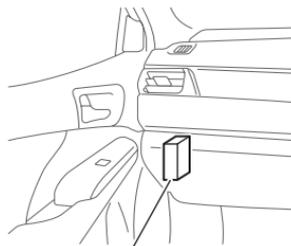


取付け方法

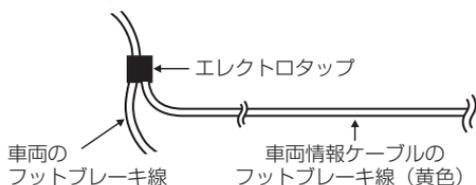
フットブレーキ線の接続

ブレーキペダルを踏んで電圧が 12V (24V)、踏まないで 0V になる配線にエレクトロタップを使用し車両情報ケーブルのブレーキ線 (黄色) を接続します。

《フットブレーキ線接続位置》



助手席側ジャンクションブロック



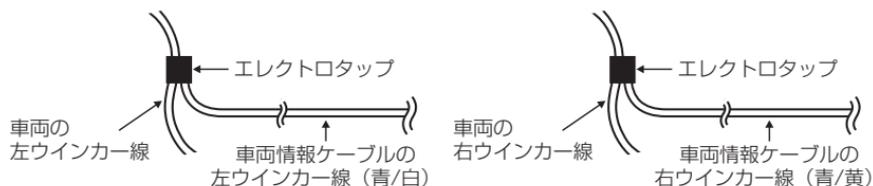
車速パルス信号線の接続

車両の車速信号線と車両情報ケーブルの車速信号線 (紫色) をエレクトロタップを使用して接続します。



ウインカー線の接続

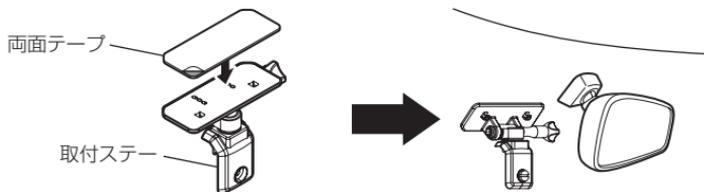
車両のウインカーと連動し、12V ⇄ 0V (24V 車の場合は 24V ⇄ 0V) になる線と、車両情報ケーブルの左ウインカー線 (青 / 白) と右ウインカー線 (青 / 黄) をエレクトロタップを使用して接続します。



本体を取付ける

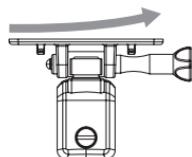
※本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

- 1) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、良く乾かします。
- 2) 取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。



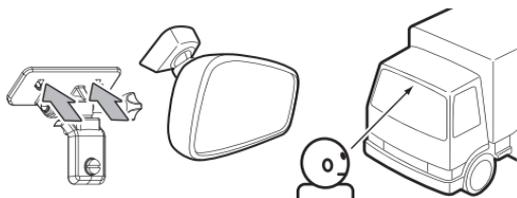
アドバイス

- ・ステーを貼付ける際は片側から順に少しずつ貼り付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。
※一度に貼り付けると空気が入りやすくなり、ステーが剥がれやすくなります。



片側から順に
貼り付けていく

- ・貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラがないようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがないことを確認してください。



ステー貼付け面を
裏側から押さえる。

車外から貼付面にムラが
ないことを確認する。

◇ステー貼付け面



全体に貼付いている



気泡や色ムラがある

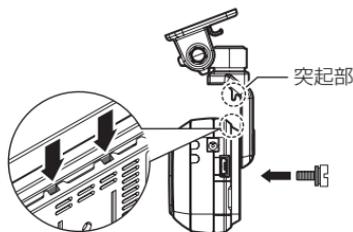
取付け方法

⚠ 注意

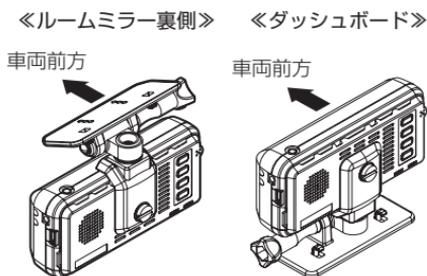
- 必ず付属の脱脂クリーナーで貼付面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- 一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので貼り直しは絶対にしないでください。
- 取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いていないと剥がれることがあります。
- 10℃以下の気温が低い場合、両面テープの粘着力が弱くなります。ドライヤーなどで貼付面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。

3) 取付ステーの突起部を本体のガイドに差し込み、ステー固定ネジで固定します。

※取付ける場所（ルームミラー裏側またはダッシュボード）によってステーの向きを変更してください。



取付けステーの突起部をガイドに差し込み、ステー固定ネジで固定する。



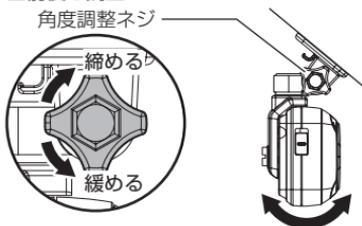
👉 アドバイス

- ネジはコインなどで必ず増し締めしてください。
- 本体を取外す時は、本体を落としたり、固定しているネジをエアコンの吹出し口などに落とさないように気を付けてください。

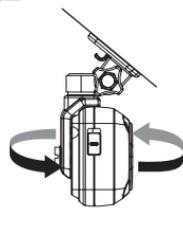
4) ステーの角度調整ネジを緩めた状態で、本体の取付角度を調整し、調整後にネジを締めます。

- ・ 本体ステー部分をフロントガラスに仮あてし、本体が地面と垂直になるように角度を調整してください。
- ・ 左右の角度調整ネジはありません。そのまま回して調整を行なってください。
- ・ 角度調整を容易に行なうため、取付ステーをフロントガラスへ貼り付ける前に角度調整を行なってください。

■前後の調整



■左右の調整

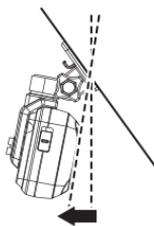


⚠ 注意

- ・ 必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・ 車両キースイッチが ACC (IG) の状態で角度調整を行うと、衝撃を検出したりスイッチを押してしまったりして映像を記録してしまうことがあるため、ご注意ください。
- ・ ステー角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- ・ カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、記録した映像がぼやけてしまうため、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- ・ 定期的なネジの緩みがないか点検を行なってください。

👉 アドバイス

- ・ 撮影した映像が暗い場合は、本製品を少し下向きになる（記録映像内の道路水平線が少し上にくる）ように角度を調整することで改善します。



道路水平線が記録映像の中央から中央より少し上にくるように調整してください。

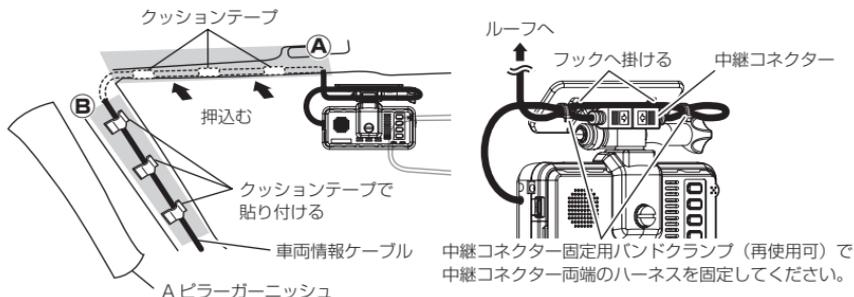
取付け方法

5) 車両情報ケーブルの配線の取回しを行なってください。

- ※運転の妨げにならないように、クッションテープやコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ※コードクランプはフロントガラスへは貼り付けしないでください。
- ※地デジや ETC 等のコードと一緒に束ねないようにしてください。

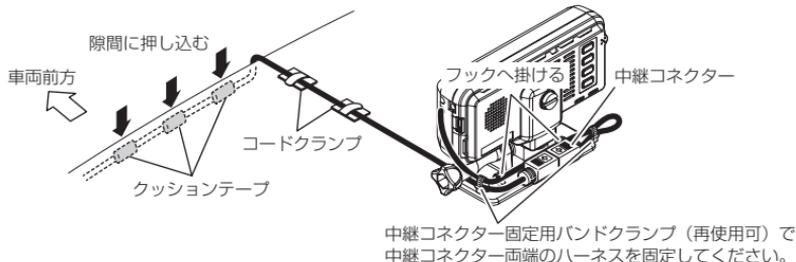
■フロントガラスへ取付けた場合

- ・①部は車両情報ケーブルにクッションテープを巻いてルーファイニング内に入れてください。
- ・②部はクッションテープで A ピラーに貼り固定してください。
- ※カーテンエアバッグには固定しないでください。カーテンエアバッグ作動不良の恐れがあります。



■ダッシュボードへ取付けた場合

車両情報ケーブルにクッションテープを巻き、フロントガラスとダッシュボードの隙間に押し込み、車両前方まではコードクランプでダッシュボードに固定します。



👉 アドバイス

- ・必要に応じて車両情報ケーブルにクッションテープ (20mm × 40mm 程度に切ったもの) を巻いて取回しを行なってください。



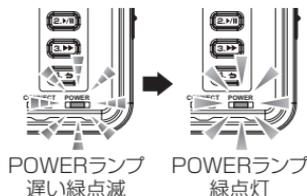
- ・PRO III 本体を取りはずす際は中継コネクタ固定用バンドクランプ 2 本を取り外し中継コネクタ接続部から取りはずしてください。PRO III 本体を取り付ける場合は中継コネクタ固定用バンドクランプ 2 本を再使用してください。

取付け後の確認と設定

1. GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ACC(IG) にし、POWER ランプが遅い緑点滅から緑点灯に変わることを確認してください。

※ GPS 衛星が受信できる安全な場所で行なってください



POWER ランプ	橙点灯	遅い緑点滅	緑点灯
本体の状態	初期チェック中	正常録画中 GPS 未受信	正常録画中 GPS 受信

👉 アドバイス

- ・ 前回終了時に正常に録画データの保存が行われなかった場合、起動時に録画データの修復処理が自動で行われます。修復処理中は POWER ランプが橙点灯した状態で『録画データを修復しています しばらくお待ちください』というアナウンスを継続して行います。
- ・ 本製品を初めて使用する時や長時間使用しなかった場合、GPS 衛星を受信するまで 5 分程度時間がかかることがあります。

2. 車速パルスを設定する

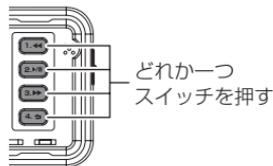
GPS を受信後 (POWER ランプが緑点灯状態)、一定の速度 (40km/h 以上) で、『ポイント 車速パルスの設定が完了しました』とアナウンスがされるまで走行します。

取付け方法

3. 操作スイッチを押してイベントデータを記録する

音声が記録されるように、ラジオやオーディオの音を鳴らした状態で操作スイッチを押して映像を記録してください。

- 4つのスイッチのどれを押しても記録できます。

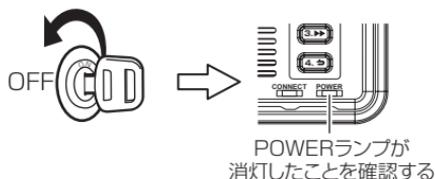


👉 アドバイス

音声録音機能の初期設定は「ON」です。設定で OFF にすることもできます。
(⇒ P36,47)

4. 車両キースイッチを OFF にする

車両キースイッチを OFF にし、POWER ランプが消灯したことを確認します。



⚠ 注意

車両キースイッチが ACC (IG) の状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カード破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜き差しを行ってください。



5. 記録した映像を確認する

パソコン用ビューワソフトを使用するかテレビに接続し、録画データを確認してください。

《確認内容》

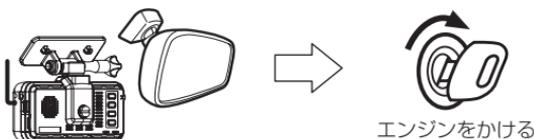
- ・『オールデータ』内に車両キースイッチを ACC(IG) にした時から車両キースイッチを OFF にした時までの映像が正常に記録されていること。
- ・『イベントデータ<スイッチ>』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること。
- ・録画データに音声録音されていること。
- ・速度が表示されていること。

👉 アドバイス

常時録画の設定 (⇒ P36.47) が OFF になっていると『オールデータ』は保存されません。

6. 内蔵バッテリーの充電を行う

再度車両へ取付けたあと、エンジンをかけることで内蔵バッテリーが充電されます。



👉 アドバイス

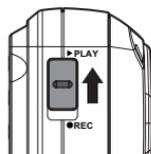
- ・商品出荷時には検査用予備充電しかされていませんので、長期間充電しない状態が続くと内蔵バッテリーが自然放電している場合があります。初めてご使用になる時は 8 時間程度の充電が必要です。
- ・充電を断続的に行う場合は、目安として 1 日 1 時間程度の走行で約 2 週間で満充電となります。
- ・別売の AC アダプターを使用することで、家庭用コンセントで充電することもできます。その際は録画 / 再生切替スイッチを **[PLAY]** に切替え、充電を行ってください。

取付け方法

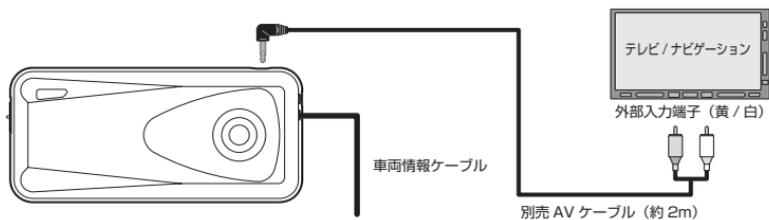
車内で取付方向を確認する（テレビ接続時のみ）

本製品と車載テレビまたはナビゲーションを別売 AV ケーブルで接続することで、実際に撮影する映像を画面に表示しながら取付位置を確認することができます。（車両のバッテリー端子（-）を接続してから確認してください）

- 1) 本製品の録画 / 再生切替スイッチを **【PLAY】** に切替えます。

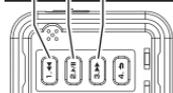


- 2) 本製品とテレビまたはナビゲーションを別売 AV ケーブルで接続します。



- 3) 車両キースイッチを ACC(IG) にし、メニュー画面が表示されたら、**【◀◀】** スイッチまたは **【▶▶】** スイッチで **【その他】** を選択し、**【▶/||】** スイッチで決定し、**【その他メニュー】** 内の **【取付確認】** を選択してください。

メニュー画面



1. ◀: 左に移動
2. ▶: 決定
3. ▶: 右に移動



【その他】 を選択し、**【取付確認】** を選択する

アドバイス

画面下部に表示されるアイコンは、本製品を縦に持った時のスイッチの位置と一致します。

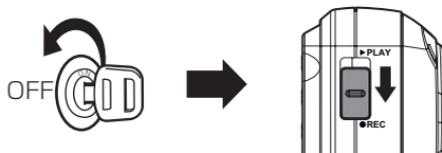
- 4) 画面に表示されるマークを目安に道路の水平線が、画面の中央に合うようにステアの角度を調整してください。

※ GPS の受信状況も確認することができます。

取付方向確認画面



- 5) 調整後、ステアの角度調整ネジ等に緩みがないことを確認し、車両キースイッチを OFF にします。その後録画 / 再生切替スイッチを **REC** に切替え、ご使用ください。



パソコンで操作を行う

ビューワソフトをダウンロードする

弊社ホームページ (<http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/driverrecorder/>)より任意の場所にビューワソフトをダウンロードします。



■動作環境

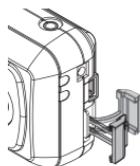
対応 OS	Windows Vista, Windows 7, Windows 8.1
メモリ	2GB (4GB 以上推奨)
HDD 空き容量	2GB 以上 (microSDHC カードと同容量以上を推奨)

※ Google マップを表示する場合はインターネット接続が必要。

映像を再生する

- 1) 車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

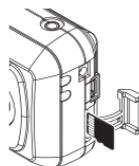
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

- 2) カードリーダー等を使用し、パソコンへ挿入します。

※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



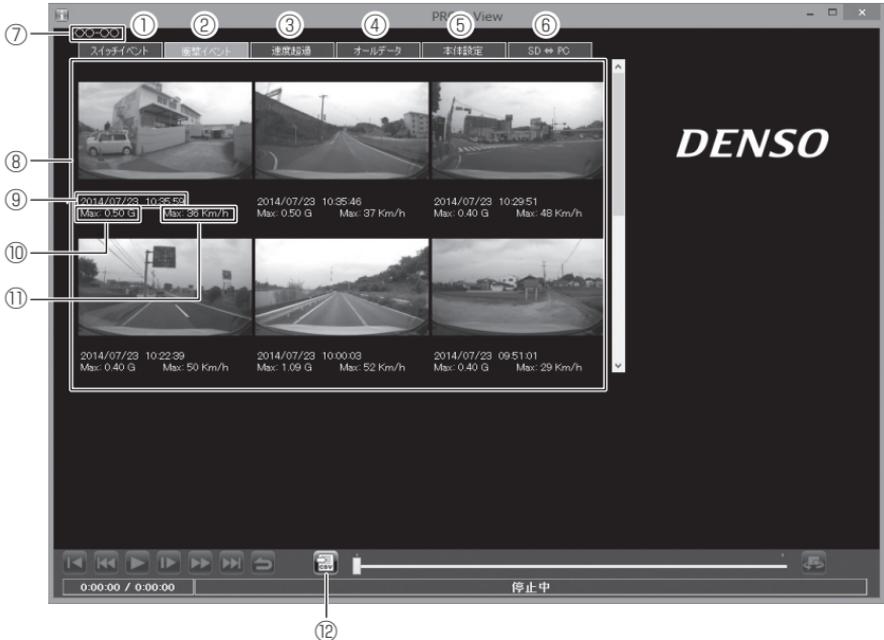
⚠ 注意

- ・ microSDHC カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- ・ microSDHC カード内のデータを直接加工（切り取りや貼り付けなど）しないでください。データが正常に読み取れなくなる恐れがあります。

3) ダウンロードしたビューワソフトを起動します。

・起動時はオールデータ画面が表示されます。

表示例) 衝撃イベント画面



①	スイッチ操作により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑦	「SD 名称」(⇒ P35) に入力した内容を表示
②	衝撃により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑧	保存されている録画データのサムネイルを表示
③	速度超過により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑨	録画データの撮影日時を表示
④	オールデータの一覧を表示	⑩	録画データの最大「G」を表示 ※オールデータでは表示されません
⑤	本体の設定画面を表示	⑪	録画データの最高速度を表示 ※オールデータでは表示されません
⑥	パソコンに保存した録画データを読み込む	⑫	運行データおよびイベントデータを CSV 形式で出力する ※最新の 1000 件を保存する

パソコンで操作を行う

👆 アドバイス

録画データソート機能

録画データの⑨『撮影日時』または⑩『最大 G』をクリックすることで、撮影日時順や最大 G 値順に並べ替えることができます。

パソコンに保存したデータを読み込む

⑥『SD ⇄ PC』をクリックすることで、パソコンに保存されたデータを選択し、確認することができます。

パソコンに保存する際は microSDHC カード内のデータすべてを任意のフォルダーへ保存します。

CSV ファイルで確認できる保存情報

本製品のビューワーソフトで出力されるデータは【運行データ】と【イベントデータ】になります。

《運行データ》

保存情報	記録内容
車両キースイッチを ACC(IG) にした時刻	年月日 時分秒
車両キースイッチを OFF にした時刻	年月日 時分秒
車両キースイッチ ACC(IG) から OFF までの走行距離	0 ~ 9999.9km
車両キースイッチ ACC(IG) から OFF までのアイドリング時間	00:00:00 ~ 99:59:59
車両キースイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生した速度超過時間	00:00:00 ~ 99:59:59
車両キースイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生した速度超過回数	000 ~ 999 回
車両キースイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生した安全運転報知回数	000 ~ 999 回
車両キースイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生した衝撃トリガの回数	000 ~ 999 回
車両キースイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生したスイッチトリガの回数	000 ~ 999 回

《イベントデータ》

保存情報	記録内容	備考
発生種別	トリガの種類を表示	衝撃検出 / 手動スイッチ / 速度超過 / 安全運転報知
発生時刻	年月日時分秒	表示例) 2014/08/01 10:00:00
発生場所	緯度	N ***.***** 表示例) 035.108739
	経度	E ***.***** 表示例) 137.100304
発生時 加速度	前後	-9.99 ~ +9.99G 後ろ (加速側) を正とする
	左右	-9.99 ~ +9.99G 右側を正とする
	上下	-9.99 ~ +9.99G 上側を正とする
	合成	0 ~ +9.99G 表示例) 0.06
発生時速度	000 ~ 999km/h	表示例) 80km/h

CSV ファイル名の表示例)

[2014/10/01 12:34:56] に CSV ボタンを押して出力した場合、

運行データ : Dv_141001_123456 イベントデータ : Ev_141001_123456
となります。

4) 確認したい映像をクリックすると再生画面に切替わり、再生が始まります。



アドバイス

- ・映像の読み込み中は、再生している映像がなめらかに再生されないことがあります。読み込みが終了しても改善されない場合は、Google マップを非表示にして改善されるか確認してください。
- ・Google マップはインターネット接続時のみ表示されます。また、Google マップ右上の『X』をクリックすると非表示にすることができます。再度表示するときは一度録画データの一覧画面へ戻り、再生を行なってください。
- ・GPSの受信状況により走行軌跡が、地図上の道路からズレることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ビューワソフトで変換される動画データをパソコンで再生する場合、QuickTimeなどで再生することができます。
- ・速度表示が実際の速度と大きく異なる場合は、ビューワソフトの設定画面より車速パルスを設定を行なってください。(⇒ P36,47)
- ・ブレーキおよび左右のウinkerの作動状態が表示されない場合は、車両への接続を確認してください。(⇒ P15,20)

パソコンで操作を行う

①	⑬	②	⑭
③	⑮	④	⑯
⑤	⑰	⑥	⑱
⑦	⑲	⑧	⑳
⑨	㉑	⑩	㉒
⑪	㉓	⑫	

設定を変更する

ビューワソフトの『本体設定』より、設定を変更することができます。

👉 アドバイス

設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、車両キースイッチを ACC(IG) にすることによって本体に設定が反映されます。

⚠️ 注意

車両情報ケーブルを使用せずに、別売シガープラグコードで接続した場合、車速パルスの設定を「オート」または「GPS」に設定してください。「オート」または「GPS」の設定以外の場合、GPS 情報による車速表示が行われなくなります。

設定画面



👉 アドバイス

- ・チェックボックスのある項目は、チェックを入れることによって設定内容を変更することができます。
- ・【車速パルス】の設定を [オート] に設定している場合、項目上へマウスカーソルを移動させると現在のパルス数が表示されます。
- ・【威嚇 LED】の項目上へマウスカーソルを移動させると本体の内蔵バッテリー充電状態が表示されます。

パソコンで操作を行う

設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
スイッチイベント	ON/OFF	ON	
衝撃イベント	ON/OFF	ON	
速度超過	ON/OFF	OFF	『車速アラーム』の設定と連動
常時録画	ON/OFF	ON	
衝撃感度	0.1 ~ 1.0G	0.4G	敏感 (0.1G) ~ 鈍感 (1.0G)
画像サイズ	FULL HD/HD/SD	HD	
フレームレート	11fps/22fps	11fps	
音声録音	ON/OFF	ON	
音量	OFF/1 ~ 10	5	
車速パルス	GPS/2/4/6/8/16/20/25/ オート	オート	
威嚇 LED	ON/OFF	OFF	
オイル交換	OFF/1000km ~ 9000km	OFF	500km 単位
走行距離	走行距離を表示	—	『クリア』でリセット
12ヶ月点検	OFF/1月~12月	OFF	1ヶ月単位
安全運転	OFF/アラーム/音声	OFF	
GPS アナウンス	ON/OFF	OFF	
車速アラーム	OFF/10km/h ~ 120km/h	OFF	10km/h 単位
エコモード	ON/OFF	OFF	
SD 名称	入力した内容がビューワーソフト左上 (⇒ P31-⑦) に表示されます。車種やナンバー等を入力し、microSDHC カードの管理にご使用ください。		

パスワードを設定する

パスワードを設定することで、プライバシーの保護や設定のロック、他人に録画データを見られないようにセキュリティを強化することができます。



注意

設定後、パスワードを忘れると解除することもできません。ご注意ください。

設定方法

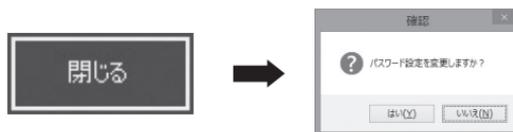
- 1) 『本体設定』内の『パスワード』を選択します。



- 2) 4桁の英数字を入力し、『OK』を押します。



- 3) 設定画面に戻り、『閉じる』を選択すると、確認画面が表示されるのでパスワードを設定する場合は、『はい』を選択します。



- 4) 次回ビューソフト起動時より、正確なパスワードを入力しないと再生することができません。

パスワードについて

【パスワードを設定した場合】

パスワードを忘れないように管理してください。

【誤ったパスワードを入力した場合】

再度正しいパスワードを入力してください。

【パスワードを忘れてしまった場合】

microSDHC カードのフォーマットをパソコンで行うことで使用することができます。ただし設定や録画データも消去されてしまいますのでご注意ください。

【パスワード設定を解除する場合】

パスワード設定画面で『パスワード解除』を選択してください。

パソコンで操作を行う

録画データを消去する

設定内容はそのまま、録画データのみを消去することができます。

消去方法

- 1) 『本体設定』内の『録画データ消去』を選択します。



- 2) 『録画データ消去』が選択された状態で『閉じる』を選択すると、確認画面が表示されるので消去する場合は、『はい』を選択します。



- 3) microSDHC カードを本体に挿入し車両キースイッチを ACC(IG) にすると、全ての録画データの消去が開始されます。

👉 アドバイス

- ・設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、車両キースイッチを ACC(IG) にすることによって本体に設定が反映されます。
- ・録画データを 1 件単位で削除することはできません。

工場出荷時に戻す

工場出荷時に戻すことで、設定と記録した録画データを消去します。

工場出荷時への戻し方

- 1) 『本体設定』内の『工場出荷時に戻す』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので工場出荷時の状態に戻す場合は、『はい』を選択します。



- 3) microSDHC カードを本体に挿入し車両キースイッチを ACC(IG) にすると、設定内容と**全ての録画データおよびパスワードの消去**が開始され、工場出荷時の状態に戻ります。

👉 アドバイス

- ・設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、車両キースイッチを ACC(IG) にすることによって本体に設定が反映されます。
- ・設定を変更する場合は、再度ビューワソフトから設定の変更を行なってください。
- ・録画データを 1 件単位で削除することはできません。

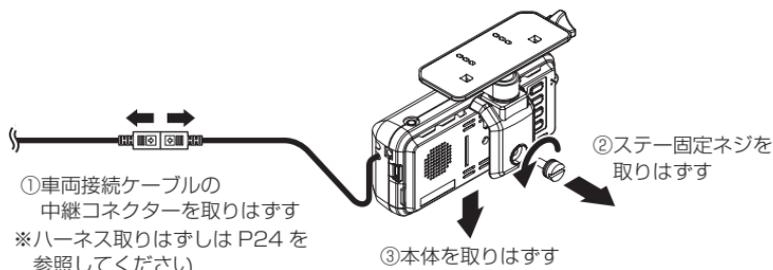
テレビで操作を行う

本体とテレビを接続する

本製品を別売 AV ケーブルでテレビと接続することで、録画データをテレビで確認することができます。

■本体をステーから取りはずす

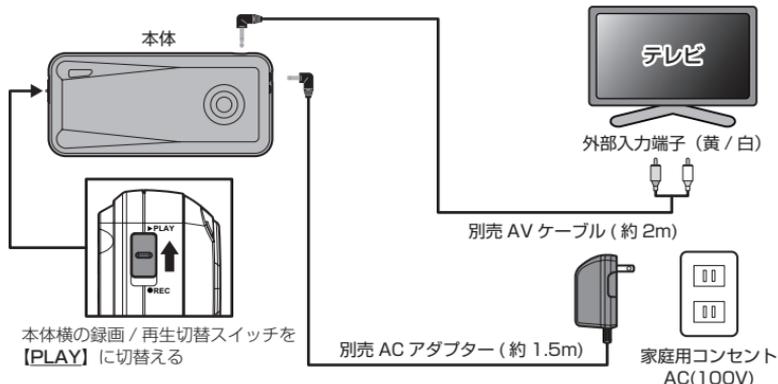
ステー固定ネジを取りはずしてから本体を取はずします。



⚠ 注意

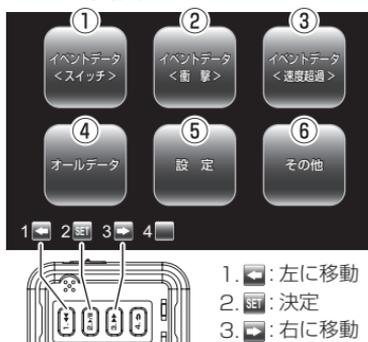
- ・ 本体を取りはずす際は、本体を落したり、ステー固定ネジをエアコンの吹き出し口などに落とさないように気を付けてください。
- ・ 再度取付後はステー固定ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- ・ ステー固定ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

■接続概要図



AV ケーブルを接続した状態で AC アダプターをコンセントへ差し込むとテレビにメニュー画面が表示されます。

■メニュー画面



アドバイス

画面下部に表示されるアイコンは、本製品を縦に持った時のスイッチの位置と一致します。

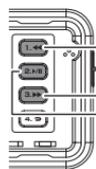
- 1. ◀: 左に移動
- 2. SET: 決定
- 3. ▶: 右に移動

①	スイッチ操作によって保存されたイベントデータを表示。	④	車両キースイッチのACC(IG)/OFFによって保存されたオールデータを表示。
②	衝撃によって保存されたイベントデータを表示。	⑤	設定画面に入る。
③	設定した車速を超えた時に保存されたイベントデータを表示。	⑥	パスワードの設定、データの消去などの画面に入る。

テレビで操作を行う

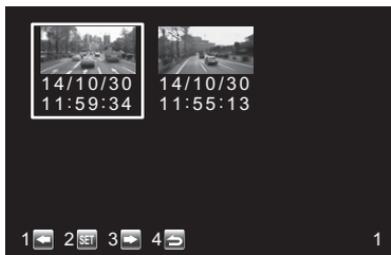
映像を再生する

- 1) メニュー画面で【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『イベントデータ(スイッチ/衝撃/速度超過)』、『オールデータ』を選択し、【▶/||】スイッチを押すと、保存された映像が一覧で表示されます。



項目を選択する

決定する



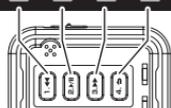
《選択画面》



サムネイルを表示

記録された日付と時間を表示

ページ数を表示

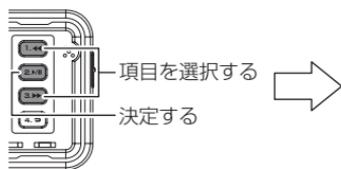


1. ◀: 左に移動
2. SET: 決定
3. ▶: 右に移動
4. 🏠: メニュー画面に戻る

アドバイス

画面下部に表示されるアイコンは、本製品を縦に持った時のスイッチの位置と一致します。

- 2) 【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで再生したい画像を選択し、【▶/||】スイッチを押すと、再生画面が表示されます。



- 3) 再生画面が表示された後、【▶/||】スイッチを押すと映像が再生されます。

アドバイス

- ・テレビ側に接続している端子をビデオや DVD レコーダー等の外部入力端子に接続し、録画することで記録した映像を保存することができます。
- ・記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。

テレビで操作を行う

◀再生画面▶



① 録画した日時を表示。	⑦ スイッチ操作、衝撃検出地点または速度超過検出地点を表示。 ※スイッチ操作または衝撃による記録時（イベントデータ）のみ。
② 映像サイズの設定を表示。（⇒ P47） FHD：FULL HD（1920 × 1080） HD：HD（1280 × 720） SD：SD（640 × 360）	⑧ ウィンカーの動作を表示
③ フレームレートの設定を表示。	⑨ ブレーキの状態を表示。 ※ブレーキを踏んだ際に赤色で点灯
④ 音声の有無を表示。	⑩ 再生時間 / 総時間を表示。
⑤ 本体カメラの録画映像を表示	⑪ 加速度を表示。 再生中はバーで表示し、一時停止中は数値で表示。
⑥ 再生状態を表示	⑫ 速度を表示。

再生画面での操作方法

操作スイッチ	再生中	一時停止中	拡大表示時
1 【◀◀】	映像を巻戻す 再度押すことで巻戻しの速度を切替える。(2段階)	映像をコマ戻しする	拡大箇所を左へ移動
2 【▶/ 】	一時停止する	再生を開始する	拡大箇所を下へ移動
3 【▶▶】	映像を早送りする 再度押すことで早送りの速度を切替える。(2段階)	映像をコマ送りする	拡大箇所を右へ移動
4 【↶】	前の画面に戻る	長押し することで映像を拡大表示する	前の画面に戻る

※ 拡大した状態で映像を再生することはできません。

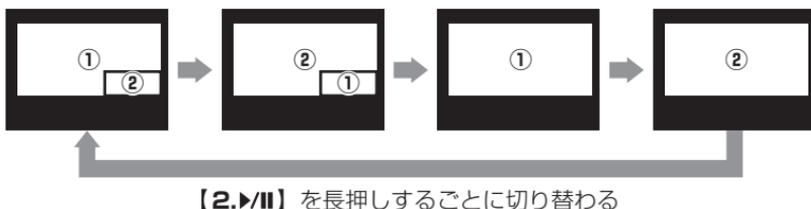
■拡大表示中の画面表示



オプションカメラ接続時の表示について

- ・本製品に別売のオプションカメラを接続した場合、再生画面右下にオプションカメラの映像が表示されます。
- ・一時停止中に**【▶/||】**スイッチを**長押し**することにより、下記の順に本体カメラの映像とオプションカメラの映像の表示位置が切り替わります。

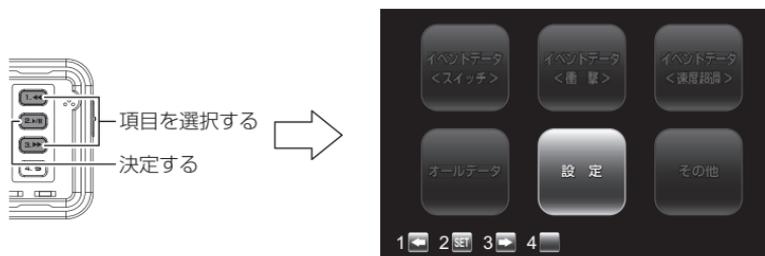
- ①: 本体カメラ映像
- ②: オプションカメラ映像



テレビで操作を行う

設定を変更する

- 1) メニュー画面で【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『設定』を選択し、【▶/||】スイッチを押します。



- 2) 【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『基本設定』、『メンテナンス』、『ドライブサポート』を選択し、【▶/||】スイッチを押して各種設定画面に入ります。



- 3) 【▶/||】スイッチを押して設定項目を選択し、【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで設定内容を変更します。
- 4) 設定変更後、【↵】スイッチを押すことで設定が登録されます。

⚠ 注意

車両情報ケーブルを使用せずに、別売シガープラグコードで接続した場合、車速ハルスの設定を「オート」または「OFF」に設定してください。「オート」または「OFF」の設定以外の場合、GPS 情報による車速表示が行われなくなります。

設定一覧

《基本設定》

項目	設定内容	初期設定	備考
スイッチイベント	ON/OFF	ON	
衝撃イベント	ON/OFF	ON	
常時録画	ON/OFF	ON	
衝撃感度	0.1 ~ 1.0G	0.4G	敏感 (0.1G) ~ 鈍感 (1.0G)
画像サイズ	FULL HD/HD/SD	HD	
フレームレート	11fps/22fps	11fps	
音声録音	ON/OFF	ON	
音量	OFF/1 ~ 10	5	
車速パルス	GPS/2/4/6/8/16/20/25/ オート	オート	
威嚇 LED	ON/OFF	OFF	右側に充電状態が表示されます。

《メンテナンス》

項目	設定内容	初期設定	備考
オイル交換	OFF/1000km ~ 9000km	OFF	500km 単位
走行距離リセット	走行距離を表示	—	『ON』 に設定で距離をリセット
12 ヶ月点検	OFF/1 月 ~ 12 月	OFF	1 ヶ月単位

《ドライブサポート》

項目	設定内容	初期設定	備考
安全運転報知	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
GPS アナウンス	ON/OFF	OFF	
速度超過イベント	ON/OFF	OFF	『車速アラーム』の設定と連動
車速アラーム	OFF/10km/h ~ 120km/h	OFF	10km/h 単位
エコモード	ON/OFF	OFF	

テレビで操作を行う

パスワードを設定する

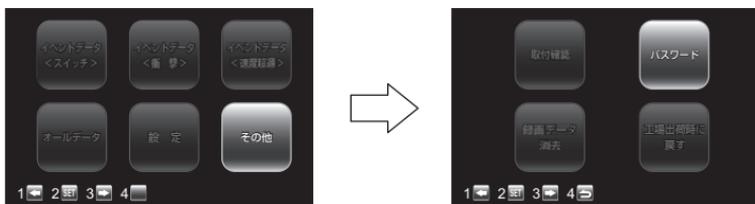
パスワードを設定することで、プライバシーの保護や他人に録画データを見られないようにセキュリティを強化することができます。

△ 注意

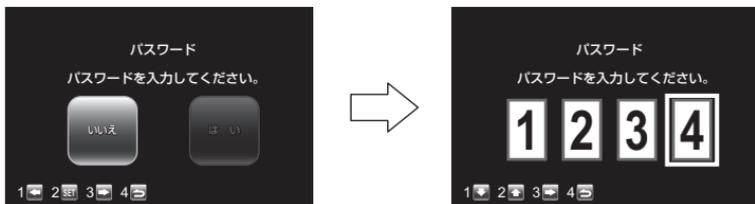
設定後、パスワードを忘れると解除することもできません。ご注意ください。

設定方法

- 1) メニュー画面の『その他』から『パスワード』を選択します。



- 2) 『設定する』を選択し、【▶/||】スイッチを押して英数字を選択し、【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで場所を移動します。



- 3) 【↵】スイッチを押すことでパスワードが設定され、次回起動時に、正確なパスワードを入力しないとメニュー画面が表示されません。

パスワードについて

【パスワードを設定した場合】

パスワードを忘れないように管理してください。

【誤ったパスワードを入力した場合】

「パスワードが違います」と表示されるので【↵】スイッチを押し、再度入力を行なってください。

【パスワードを忘れてしまった場合】

microSDHC カードのフォーマットをパソコンで行うことで使用することができます。ただし設定や録画データも消去されてしまいますのでご注意ください。

【パスワード設定を解除する場合】

パスワード設定画面で『解除する』を選択してください。

録画データを消去する

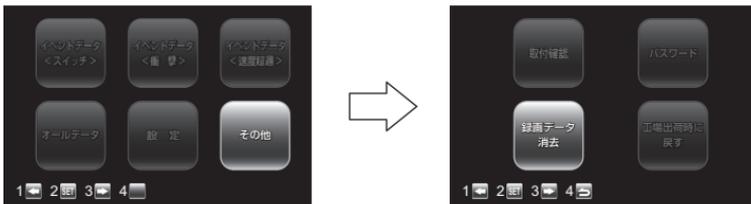
設定内容を残した状態で、録画データのみを消去することができます。

アドバイス

記録した映像を1件単位で削除することはできません。

消去方法

- 1) メニュー画面の『その他』から『録画データ消去』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので消去しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) 録画データが全部消去されます。

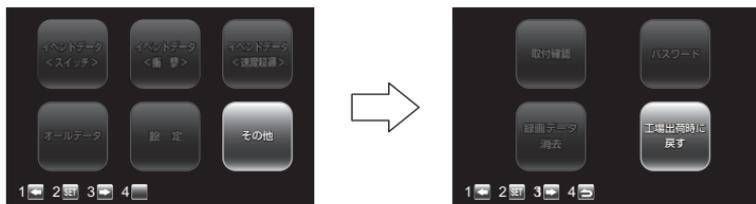
テレビで操作を行う

工場出荷時に戻す

工場出荷時に戻すことで、設定と記録した録画データを消去し、初期化します。

工場出荷時への戻し方

- 1) メニュー画面の『その他』から『工場出荷時に戻す』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので工場出荷時の状態に戻しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) 設定内容と全ての録画データおよびパスワードが消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

記録時間を変更する

本製品の映像サイズおよびフレームレートの設定を変更することで、記録時間を変更することができます。

※ 下記表の記録時間は、付属の microSDHC カード (8GB) を使用した場合の目安としてください。記録時間は録画する風景や明暗によって変動します。状況によっては記載内容の半分以下になることもあります。

《記録時間》

映像サイズ設定	フレームレート設定			
	22fps	11fps	オプションカメラ接続時	
			22fps+11fps	11fps+11fps
FULL HD (1920 × 1080)	約 3 時間	約 6 時間	約 3 時間	約 4 時間
HD (1280 × 720)	約 6 時間	約 12 時間	約 4 時間	約 6 時間
SD (640 × 360)	約 12 時間	約 24 時間	約 6 時間	約 10 時間

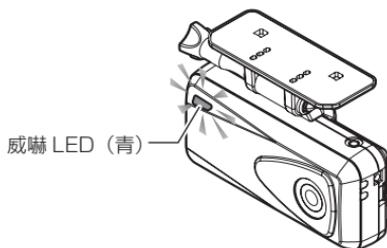
※ フレームレートとは 1 秒あたりの記録枚数を表わしており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかに再生されます。

※ オプションカメラは、フレームレート:11fps/映像サイズ:SD 固定になります。

威嚇 LED を点滅させる

本製品は本体カメラ側に威嚇 LED (青) を搭載しています。『威嚇 LED』の設定を ON にすることでキー OFF 後、一定期間点滅します。

※ 点滅する期間は内蔵バッテリーの充電状態によって異なります。



👉 アドバイス

威嚇 LED は内蔵バッテリーを使用するため 1 週間に 2 時間以上走行する (充電する) ことをお勧めします。

※ 充電状況により威嚇 LED が消灯することがあります。

便利な機能

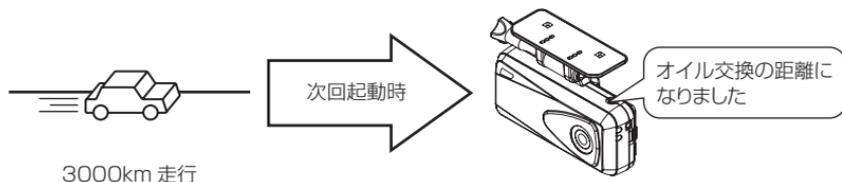
車両メンテナンス機能

設定した月・走行距離になったあと、次回起動時にアナウンスを行います。

オイル交換のお知らせ

設定画面で『1000km～9000km（500km単位）』から選択し設定すると、設定した距離を走行後、次回起動時にオイル交換を促すアナウンスを行います。

例) 3000km に設定した場合



👉 アドバイス

オイル交換終了後、設定画面で『走行距離リセット』を行うことで、再度設定した距離を走行後オイル交換のアナウンスを行います。

12ヶ月点検のお知らせ

設定画面で『1月～12月』から選択し設定することで、設定した月になると車両点検を促すアナウンスを行います。

「車両点検の時期になりました。」

安全運転報知機能

急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出すると音声またはアラーム音でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動して ON になります。

アナウンス内容

運転状況によって音声がか替わります。

安全運転報知レベル	アラーム音、音声内容
レベル 1	効果音 “ピピピ” 安全運転を心がけましょう
レベル 2	効果音 “ピピピ” 安全運転を心がけてください
レベル 3	効果音 “ピピピ” 運転に注意してください。

※ 設定をアラームにした場合、効果音 “ピピピ” のみ鳴ります。

アドバイス

- ・衝撃検出レベルの設定に応じて報知レベルが変化します。
- ・ブザーが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時は、安全運転報知機能は作動しません。

長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記アナウンスを行います。

※ 安全運転報知機能を「アラーム」に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。」

便利な機能

エコモード

エコモードを設定することで、エコ運転を支援するアナウンスを行います。

項目	アナウンス内容
加速評価（ふんわりアクセル）	ふんわりアクセルです。
加減速評価	緩やかな加速を心がけましょう。
	緩やかな減速を心がけましょう。
一定速度での運転評価	エコ運転です。
アイドリング検出機能	長時間のアイドリングは控えましょう。
タイヤの空気圧チェック	タイヤの空気圧を点検しましょう。
エアコンの適正温度	エアコンは適切な温度に設定しましょう。

加速評価（ふんわりアクセル）

ゆっくりスタートした時に上記アナウンスを行います。

加減速評価

急な加減速を検出した時に上記アナウンスを行います。

一定速度での運転評価

30～60km/hにおいて一定速度での走行を続けると上記アナウンスを行います。

アイドリング検出機能

速度が 0km/h の状態が 5 分間連続した場合に前ページのアナウンスを行います。無駄なアイドリングをなくすことで、燃費の向上や CO2 の削減に役立ちます。

※ アナウンスを行うまでの時間を変更することはできません。

👉 アドバイス

アイドリング検出機能を使用する場合、車両情報ケーブルの ACC 線を車両 IG 線に接続することをお勧めします。

※車両 ACC 線に接続した場合、ACC ON の状態（エンジン OFF）でもアナウンスを行います。

タイヤの空気圧チェック

月が変わって最初の起動時に 1 回、前ページのアナウンスを行います。

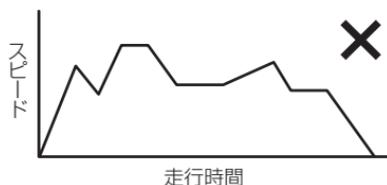
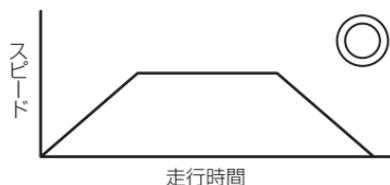
エアコンの適正温度

7/1 ~ 8/31 の 10:00 ~ 15:59 に起動したときに 1 日に 1 回のみ前ページのアナウンスを行います。また他のエコモードのアナウンスと重なった場合はアナウンスを行いません。

エコ運転を行う際の注意点

1. 丁寧なアクセルワークを心がけましょう。
※最初の 5 秒で 20km/h 程度になるのが目安です。
2. 車間距離に余裕を持ち、急加速・急減速を行わず速度変化の少ない運転をしましょう。
3. 早めにアクセルを OFF にし、エンジンブレーキを有効に使いましょう。
4. 気象条件に応じたエアコン操作をしましょう。
5. 不要なアイドリングはやめましょう。
6. タイヤの空気圧は定期的にチェックしましょう。
7. 無駄な荷物を車に積むのはやめましょう。

■アクセルワーク



便利な機能

GPS セーフティアナウンス機能

『GPS アナウンス』の設定を [ON] にすると事故多発ポイントや速度監視路線等、事故の多い地点を通過する前に注意を促すアナウンスを行います。

※ ポイントの追加および更新を行うことはできません。

事故多発ポイント

事故多発ポイントとして登録されている地点の約 300m 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「この先事故多発ポイントです。」

速度監視路線

速度監視路線として登録されている地点の約 1km 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「この先速度監視路線です。」

車速アラーム機能

設定画面で『10 ~ 120km/h』から選択し設定することで、設定した速度を超えた場合に下記アナウンスを行います。またアナウンス後 1 分間は再アナウンスを行いません。

「スピードの出し過ぎに注意しましょう。」

速度超過録画

『速度超過設定』を [ON] に設定していると、本機能で設定した速度を超えた時点の前 20 秒 / 後 10 秒を『速度超過イベントデータ』として録画データを保存します。

こんなときは？

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症状	ここをチェックしてください。	参照ページ
POWER ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●配線を間違えていませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？ ●接触不良、断線などしていませんか？ 	18,19 ページ 18 ページ 18,19 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	●設定画面にて『録画データ消去』を行うことで全映像を削除することができます。1 件ずつ削除することはできません。	38,49 ページ
事故の衝撃で車両バッテリーが破損しても映像を記録することはできますか？	●衝撃検出時バックアップバッテリーにより、車両のバッテリーが破損しても映像を 10 秒間記録することができます。	—
バックアップ機能で映像が記録されない。	●内蔵バッテリーの充電が不十分であったり、内蔵バッテリーの寿命の可能性があります。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	●本製品は映像サイズおよびフレームレートの設定を変更することで記録時間を変更することができます。	36,47 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に上書きされていきます。	10 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	● microSDHC カードは消耗品です。2～3 年を目安に交換を行なってください。	6 ページ
『イベントデータ』に記録時間が短い（30 秒未満）映像がありますが故障ですか？	●起動直後は記録前の映像がないため、記録時間の短い映像が記録されることがありますが故障ではありません。	10 ページ
速度が表示されない / 実際の速度と大幅に違う	<ul style="list-style-type: none"> ●車速パルス信号線の接触不良、断線などしていませんか？ ●車速パルスの設定がオート以外の場合、速度が大幅に異なって表示されます。 	20 ページ 36,47 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	4 ページ
microSDHC カードがパソコンで認識されない	●お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属品は microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	—
記録した映像が暗い	●本製品を少し下向きになる（記録映像内の道路水平線が少し上にくる）ように角度を調整することで改善する場合があります。	23 ページ
威嚇 LED が光らない	<ul style="list-style-type: none"> ●設定が OFF になっていませんか？ ●内蔵バッテリーの充電状態によっては点滅しなかったり、点滅期間が異なります。 	36,47 ページ 36,47,51 ページ

POWER ランプ確認表

本体作動時の POWER ランプや microSDHC カードアクセスランプの点灯パターンの確認表です。

※ 本製品では『CONNECT ランプ』は点灯しません。

◆ POWER ランプ

録画 / 再生 切替スイッチ	GPS 受信状態	POWER ランプ表示	内容	
REC	受信	緑点灯	正常動作（記録中）	
	未受信	遅い緑点滅		
	—	—	早い緑点滅	スイッチ操作、衝撃または速度超過による記録中
			橙点灯	システムチェック中
PLAY	—	橙点滅	音声アナウンスを確認後、各アナウンスに対する対処方法をご確認ください（⇒ P59）	
		橙点灯	正常動作（再生中）	
REC/PLAY	—	早い橙点滅	録画データの消去中	

◆ microSDHC カードアクセスランプ

表示	内容
橙点滅	microSDHC カードへアクセス中はランプが点滅します。（起動～システム OFF まで）ランプ点滅中は microSDHC カードを抜かないでください。故障の原因となります。

アナウンス一覧表

下記アナウンスが発生した場合、項目別対処方法をご確認ください。

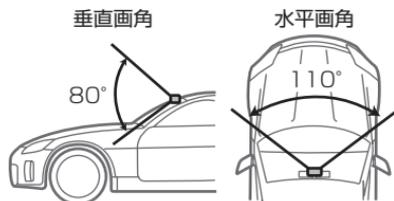
音声アナウンス内容	項目別対処方法
内蔵バッテリーの電圧が低下しています 充電を行なってください	内蔵バッテリーの充電を行なってください。充電を行ってもアナウンスが発生する場合、内蔵バッテリーの交換が必要です。
SDカードをフォーマットする必要があります 2番のスイッチを3秒間押してください	microSDHCカードの異常を検出し、自動で修復できない場合にアナウンスを行います。また、新しいmicroSDHCカードを挿入した際にもアナウンスを行います。 アナウンスに従い(2番のスイッチを3秒間押す)、フォーマットを行なってください。
SDカードを確認してください	車両キースイッチをOFF後、microSDHCカードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認してください。 カードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、車両キースイッチをACC(IG)にしてください。 症状が改善されない場合は、microSDHCカードを交換してください。
SDカードが入っていません	車両キースイッチをOFF後microSDHCカードを挿入し、車両キースイッチをACC(IG)にしてください。
スイッチが押されたままです 再起動を行なってください	本体操作スイッチが押されたままになっていないことを確認し、車両キースイッチをACC(IG)にしてください。
機器温度が高くなっています	本体の使用温度範囲を超えています。夏場などはしばらく時間を置いてからご使用ください。
再起動を行なってください	車両キースイッチをOFFにし、内蔵バッテリーをはずしてください。約1分程度おいた後、内蔵バッテリーを取付け、車両キースイッチをACC(IG)にしてください。 症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談下さい。
SDカードを抜かないでください	車両キースイッチをOFF後microSDHCカードを挿入し、車両キースイッチをACC(IG)にしてください。
録画データを修復しています しばらくお待ちください	前回終了時に正常に録画データの保存が行われませんでした。起動時に自動で録画データを修復します。
オプションカメラの接続を確認してください	本体と別売オプションカメラとの通信が正常に行われていません。下記手順をお試しください。 1. 車両キースイッチをOFFにして、本体と別売オプションカメラのUSBケーブルを取りはずしてください。 2. 車両キースイッチをOFFにして、本体の内蔵バッテリーを取りはずしてください。約1分程度おいた後、内蔵バッテリーを取付け、車両キースイッチをACC(IG)にしてください。 症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談下さい。

付録

製品仕様

本体

電源電圧	DC12 / 24V
動作電圧範囲	10 ~ 28V
最大消費電流	0.5A以下 / 12V (0.3A以下 / 24V)
作動温度範囲	-10℃ ~ 60℃
本体サイズ	116 (W) × 54 (H) × 28.5 (D) / mm (突起部除く)
有効画素数	200 万画素
撮像素子	CMOS
記録映像サイズ	FULL HD (1920 × 1080) HD (1280 × 720) SD (640 × 360)
カメラ画角	水平 110° 垂直 80°
最大記録時間	約 24 時間 (8GB) 映像サイズ :SD、 フレームレート : 11 fps 設定の場合
記録方式	常時録画、3 軸加速度センサーによる衝撃録画、 スイッチ操作による録画、速度超過による録画
重量	200 g (取付けステーおよび内蔵バッテリー含む)



※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

商標について

本取扱説明書に記載されている製品またはサービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。

- 「QuickTime」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 「Google マップ」は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 「Windows」は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

保証とアフターサービス

保証書

持込修理

保証規定（必ずお読みください）

1. 保証の内容

取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理（保証修理）を受けることができます。

（以下、この無償修理を保証修理といいます）

保証修理は部品の交換あるいは製品の交換により行い、交換された部品・製品は弊社の所有となります。

この保証規定による保証修理の対象は弊社製品の本体（除く内蔵バッテリー）に限ります。

なお、本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。

2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合、お買い上げいただいた販売店にこの保証書をご提示の上、保証修理をお申し付けください。

ご提示がない場合、保証修理をお受けいたしかねます。

なお、販売店がこの保証書にご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）を添付してください。

販売店に製品を送付される場合、この保証書を製品に添えてお送りください。

製品を送付される場合、宅配便など送料控が残る方法をお願いします。

なお、送料などの諸費用、引取りに伴う出張費はお客様のご負担になります。

3. 保証しない事項

1) 保証期間内でも次のような場合には保証修理いたしません。

- (1) 取扱説明書に記載されている“警告・注意・ご使用上のお願い”その他記載内容を遵守されなかったことによる故障または損傷。
- (2) 車載用ドライブレコーダー以外の用途（例えば、住居・船舶・建設機械等）で使用されたことによる故障または損傷。
- (3) 指定以外（DC12/24V）の電源で使用した場合、および電源の逆接続などによる故障または損傷。
- (4) 弊社または弊社指定の取扱販売店以外による点検・修理・移設・分解したもの、改造したもの。
- (5) お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。
- (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天変地異や公害・塩害・異常電圧・事故などによる故障または損傷。
- (7) 弊社指定の部品以外をご使用になったことによる故障または損傷。

(8) 本機での使用目的以外のデータを記録したSDHCカード、弊社指定以外のSDHCカードのご使用によって生じた記録データの消失または破損。

(9) 車両事故によって生じた記録データの消失または破損。

(10) 使用推奨期限を経過した内蔵バッテリー・SDHCカードをご使用になられたことによる記録データの消失または破損。

(11) カメラレンズの汚れ、フロントガラスに付着した汚れ・水滴・高輝度光源などを介して記録したデータの見づらさ。

(12) 本製品以外の故障等に誘発された記録データの消失・破損、本体の故障または損傷。

(13) ご使用によって生じる外観・美観・色あせなどの外観上の現象。

(14) 取扱説明書に記載されている、温度の範囲を超えた環境下でご使用になられたことによる故障または損傷。

2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- (1) 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失。
- (2) 消耗部品（内蔵バッテリー、SDHCカード、1Aガラス管ヒューズ）
- (3) 本製品の使用・故障・修理に伴う二次的損害に対する補償。

4. 保証の発効

保証書に必要な事項を記入、捺印することにより有効となります。

本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 保証の適用

この保証書は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

(This warranty is valid only in JAPAN)

6. その他

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間満了後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

名称・型式	ドライブレコーダー DN-PRO III 本体				
★お客様	お名前		様		★販売店
	ご住所 〒		-		
	電話番号 ()		-		
店名・住所・電話・捺印					
印					
★お取付車両	メーカー名	車名	登録 No.	年式	備考 (修理メモ等)
	取付時走行キロ		km		
★保証期間	お買い上げ日から 2年				
	お買い上げ日 西暦 年 月 日				

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ず記入の有無をご確認ください。

お客様ご相談窓口のご案内

お客様ご相談窓口（携帯電話からでもご利用できます。）

0800-700-1084（通話料無料）

受付時間 9:00～17:00 土・日・弊社休日を除く

株式会社 デンソー

株式会社デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町 1-1

0566-25-5511
(番号案内)

株式会社 デンソーセールス

株式会社デンソーセールス

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-15-13

03-6367-9666

北海道支社	〒003-0022	北海道札幌市白石区南郷通 21 丁目南 4-15	011-558-7800
東北支社	〒983-0036	宮城県仙台市宮城野区苦竹 2-6-1	022-238-9911
青森支店	〒038-0003	青森県青森市大字石江字江渡 18-34	017-761-1177
関東支社	〒338-0013	埼玉県さいたま市中央区鈴谷 4-4-1	048-840-1177
栃木支店	〒321-0911	栃木県宇都宮市問屋町 3172-52	028-657-7880
茨城支店	〒310-0842	茨城県水戸市けやき台 3-48-1	029-304-1006
千葉支店	〒261-0026	千葉県千葉市美浜区幕張西 3-1-9	043-299-1188
横浜支店	〒224-0045	神奈川県横浜市都筑区東方町 340-1	045-470-1177
新潟支店	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中 3-14-13	025-282-1177
中部支社	〒457-0828	愛知県名古屋南区宝生町 4-30	052-619-1777
北陸支店	〒930-0004	富山県富山市桜橋通り 2-25 富山第一生命ビルディング 7 階	076-443-1311
静岡支店	〒420-0810	静岡県静岡市葵区上土 1-1-84	054-267-0770
長野支店	〒381-0101	長野県長野市若穂綿内南條 87-3	026-282-7300
関西支社	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原 4-2-30	06-7166-4000
京都支店	〒601-8136	京都府京都市南区上鳥羽若ノ本町 15	075-662-8811
中国支社	〒730-0025	広島県広島市中区東平塚町 4-21	082-242-5202
岡山支店	〒700-0941	岡山県岡山市南区青江 6-6-13	086-262-9911
四国支社	〒760-0065	香川県高松市朝日町 3-6-3	087-821-9750
九州支社	〒812-0015	福岡県福岡市博多区山王 2-6-35	092-412-1177